

# ヒメミクリ

*Sparganium stenophyllum* Maxim.

## ミクリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

### 選定理由

従来もやや少ない種類であったが、近年著しく減少している。(現況:R-)

### 形態

類似種と区別する特徴は、果実が長さ4~5mm、幅2~3mmの倒卵形で、他種では紡錘形であるのと異なる。果実には小柄はない。花序が分枝せず、雌性頭花が2~4箇着生する場合と下部の苞の腋から1~2本の小枝がでて、1~3個の雌性頭花と数個の雄性頭花が着く場合がある。雌性頭花はお互いに離れて着生するが、雄性頭花はやや接近して着く。主軸では雄性頭花の数は5~10個。草丈40~90cm、葉の幅は2~10mm。

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州、琉球。朝鮮、中国(北部)に分布。

### 県内分布

従来は能登全域、加賀中央区に分布。本調査では7産地の報告が、能登外浦区および内浦区、中能登区、南加賀区からあった。

### 生態など

多年生の抽水~湿生植物。開花期は7~8月。

### 生育環境

池沼、溜池、湿原など。

### 危険要因

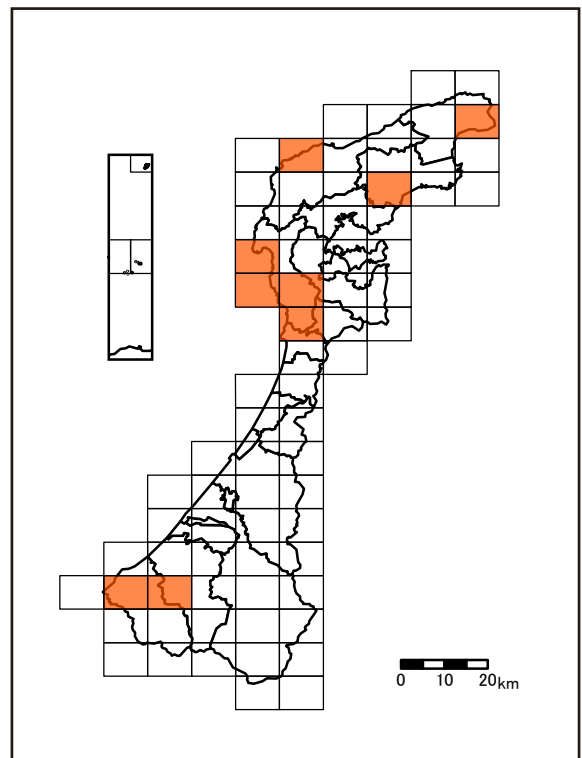
森林伐採、湿地開発、池沼開発、その他(泥あげなど)。

### 特記事項

*S. subglobosum* Morongとする見解がある。



濱野一郎・2005年7月28日



県内の分布